

中越地震から一年たって

大平 亜依

あの時からもう一年がたちます。あの日のことは一生わすれられません。ひなん所にとまっていたこと、家に帰ったけど大きな余震がきたこと、たくさんの方が思い出されます。学校がはじまってからも、大きな余震がきて、グラウンドで白いおにぎりを食べたのはよくおぼえています。ボランティアのお母さん達が作ってくれたおにぎりはおいしかったです。です。これからも何があっても助け合いはげましあって生きてゆきたいです。また、全国の小中学校から手紙や物をいただいたりしました。すごくうれしかったです。ひなん所にいた時、私の笑顔は家族をはげますよ。と母に言われて、人が人をはげますことができるということに気づきました。これからも笑顔を大切にしていきます。